

やさかだよい3 No. 89

八坂地域づくり協議会 <https://www.shinshu-yasaka.com> 2022年（令和4年）3月1日



鬼は外～！福は内～！

3月号の記事

地域づくり協議会の活動から	2
地区の活動から	3
八坂小学校	4
八坂中学校	5
たけのこ保育園・山留の風	6
八坂公民館から	7
編集委員の任期を終えて	8
編集後記	8



2月3日（木）、たけのこ保育園では節分が行われ、子どもたちは雪で覆われた園庭で元気に豆まきをしました。

八坂地区の人口：761人
（男 377人・女 384人）
八坂地区の世帯：351世帯
（令和4年2月1日現在）

地域づくり協議会の活動から

年明けの新型コロナウイルス感染症のオミクロン株の感染拡大により、大田市は1月11日に長野県発出の感染警戒レベル5に、またその後も新規感染者の増加により長野県初の「まん延防止等重点措置」が1月27日から3月6日まで適用されたことに伴い、開催を予定していた会議や先進地視察、また八坂地域市政懇談会は延期や中止といたしました。

なお、延期となっている会議については、今後の感染状況を踏まえ、開催時期を検討していきます。

《延期》

○第5回地域づくり協議会

○八坂地域懇談会

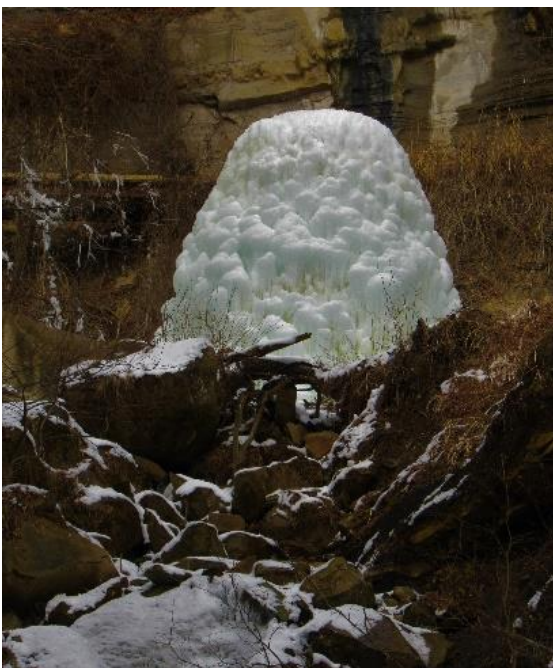
○先進地視察（予定：長野市中条地区）

○第4回自治振興会長会議

《中止》

○第11回やさかだより編集委員会
（書面により内容検討打ち合わせ）

2022年は雪と寒さでスタート！ 冬ならではの風景を紹介



大滝（石原地区）



熊襲（くまそ）の滝（辺尾地区）

年末から次々と強い寒気が襲来し大雪になるなど、厳しい寒さが続いています。たけのこ保育園の園児たちは、大雪でも大喜びで外へ行き、土手での尻すべりなど雪遊びを毎日楽しんでいます。八坂小学校では予定していたスキー教室がコロナの感染拡大のため中止になってしまい、残念。そんな子どもたちの姿がありましたが、今年は数年ぶりの大雪になったため、校庭の坂でのそり遊び・雪合戦・かまくら作りなど、たくさん雪遊びを楽しむ光景が見られました。

近年、出現しなかった大滝（石原地区）の氷柱や熊襲（くまそ）の滝（辺尾地区）の氷瀑も、連日の厳しい冷え込みにより姿を大きくしているようです。



年末から
年明けの

各地区の活動報告

舟場地区

一年ぶりに生け花教室を開催しました。集会所には新年を迎えるための松飾りを飾りました。



石原地区

役員が集まり、門松を作り石原公民館に飾りました。



門松づくり
土囊の上に竹を置くことで竹が固定されて、安全に作業出来るそうです。

野平地区

1月9日(日)、地域の方と山留生の皆さんが朝9時に集まり、どんど焼きの準備を行いました。

午後5時に、年男、年女が点火すると、大きな炎に子供たちの喚声が上がりました。(山留生にも手伝ってもらい、大いに助かりました。)



切久保地区

今年のどんど焼きは、規模を縮小して1月10日(月)に行いました。

また、1月15日(土)の早朝には、「鳥追い」を行い、子どもたちが2時間かけて鳥追いの歌を歌いながら家を一軒一軒回りました。



どんど焼き

はじめの

オンライン授業参観

2月5日(土)に行った授業参観は新型コロナウイルス感染症の急拡大により、本校初の試みとしてオンラインによる授業参観と校長講話を行いました。当日は、通常どおり児童は登校して授業を受け、保護者及び学校運営協議会の皆様はインターネットによるビデオ会議アプリを使って、オンラインで授業と校長講話を視聴していただきました。



《6年生》 日本の文化や歴史、理科の学習から学んだことを映像や実演で発表したり、狂言「柿山伏」を皆で演じたりと大活躍の6年生。合唱曲「地球星歌」も披露しました。6年間のまとめとして、堂々と発表する姿をご覧ください。



《5年生》 今年の中核活動「米作り」への取り組みと八坂中学校で行った「学びの合宿」での様子をプレゼンソフトを使い、映像を交えて発表しました。その場で、おうちの方からも子どもたちへエールをいただきました。

《4年生》 学習発表を通して担任の先生を救出するというストーリーで発表をしました。オンラインでおうちの方にも問題を解いてもらったり、リコーダー奏等の感想を言ってもらったりと双方向的な発表会を行いました。



書き初め会

1月12日(水)に全校で「書き初め会」を行いました。1・2年生は硬質(鉛筆)、3年～6年生は毛筆でお手本を見ながら書き上げました。今年はできるだけ接触を避けるため、お互いの様子を見合って学ぶことはできませんでしたが、各自が紙に集中するようにしたことで、真剣に向き合うことができました。最後に、一番良く書けたと思う作品を提出し、展示してお互い見合いました。



最優秀賞

吉原由紀さん



ポスター作品受賞

小野和歌子さん



八坂中学校生徒会主催 フォトコンテスト最優秀作品と “新”八坂 PR ポスター作品、 キャッチコピーが決定しました

第2回目

の八坂中学校
生徒会主催の
フォトコンテ
ストが開催さ
れましたが、
今回は更にパ
ワーアップ
し、キャッチコ
ピーも募集し
て自分たちの
『新』八坂
PRポスターを
制作すること
になりました。

フォトコンテスト最優秀作品は、切久保南の吉原由紀さんの「これから始まる
棚田の季節」にPRポスター写真には矢下の小野和歌子さんの「里山の朝〜雲海」
に決定、またキャッチコピーは吉澤正さんの「なんもないですけど。」に決定
しました。学校関係者や保護者の方以外にも地域の方から多く応募いただきま
したが、その地域の方の八坂への思いを素晴らしい写真作品とポスターという
形にしてください、八坂中学校の生徒会の皆さんありがとうございます。



“新” PR ポスター作品（完成イメージ）
「里山の朝〜雲海」小野和歌子（矢下）
キャッチコピー：吉澤正（八坂中学校）

（他の受賞作品は八坂中学校、八坂地域づくり
協議会の HP で見るができます）



フォトコンテスト最優秀作品

「これから始まる棚田の季節」吉原由紀（切久保南）

八坂小学校1年生と 交流したよ!

1年生が考えたさかな釣りや輪投げなどルールを教えてもらい、交流を楽しみました。小学校の教室で遊ばせてもらいながら学校の雰囲気を知ったり、1年生がリードしてくれる様子を真剣に聞いている姿も見られました。もうすぐ1年生になる年長さんも少しずつ期待を膨らませてきています。

はなのき保育園に遊びに行ってきましたよ!



お友達がたくさんで初めは緊張する様子も見られましたが、体操やゲーム、カルタ取りなどをして遊びました。一緒に遊びを楽しむことから、名前を知らなくても自然に溶け込み、話をする姿や笑顔が見られ、楽しい時間を過ごすことができました。帰りのバスの中でも「楽しかったね!」と口々に話す声が聞こえました。同年齢のお友達とかわる機会をまたつくってあげたいなと思っています。



山留の風

育てる会 TEL:26-2306 HP:www.sodateru.or.jp

山留センターでは、冬の山村文化体験として炭焼きを体験していきます。まずは炭焼きに使う原木の切り出しから。ならの森キャンプ場の整備を兼ねて、切り出しを行います。講師として来て下さった山仕事創造舎の方が大きな木にチェーンソーで切り込みを入れ、学園生がそれを力いっぱい引き、全員で木を切り倒しました。その木を班毎にのこぎりで炭焼きに適した大きさに切り分けていきました。セリターに運んだそれらを、後日、オノで同じ大きさに割っていきまします。重いオノを狙った所に落とすのは難しく、大変な作業でしたが、割れた時には「やっと割れた」と満足。なかには、もっとやりたいと集中して何本も割る学園生もいました。そして、それらを炭焼き窯に入れていよいよ炭焼きです。木曜日の中に一度火を焚いて窯の中を温めました。金曜日の夕方に木を立て込み、いよいよ点火。窯の中は1000度を超え、前に立っているだけで熱さを感じるほどです。気温が低いこともあり、金曜日に点火しても取り出せたのは日曜日の夕方。窯を開けると中には赤々とした炎が見え



炭焼き活動

「すごい」とつぶやく学園生。出来た炭を取り出すために長い棒を使いますが、窯の近くはかなりの高温になります。「熱い!」と汗をかきながら作業をし、炭を取り出していきました。センターで作るのは取り出した炭に湿った灰をかけ、急速に冷やす白炭と呼ばれるもの。取り出す人、灰をかける人と担当を分け、協力して作業することができました。約3日間、夜通しの作業となりましたが、暮らして自然と共にあった炭焼きの知恵、さらに、労働の大変さを身をもって感じることもできました。

さて、3月18日(金)に、八坂46期・美麻30期の学園生31名が修園を迎えます。前年度に引き続き、今年度は感染症への懸念もある中で、が、学園生が穏やかな一年を過ごせたのは、地域の皆様の変化らぬご協力のおかげです。本当にありがとうございました。次年度も、どうぞよろしくお願いします。

令和5年4月からの 施設分離型小中一貫校へ向けた 八坂地区説明会開催

令和5年4月から八坂小学校と八坂中学校を施設分離型小中一貫校に移行するため、12月23日（木）に市教育委員会により地区説明会が八坂公民館で開催されました。説明会には地区内外から大勢の参加者があり、貴重なご意見が寄せられました。今回は、主なご意見やご質問を紹介します。



問：小中一貫校となることで子供達にどのようなメリットがあるか。

答：すでに理科や美術など専門科の先生が授業を教える小中連携が始まっており、一貫校では、9年間の指導方針を定め、系統的、横断的な学習ができる。また、校舎が離れているため、ICTを十分活用した指導を行っていく。

問：学校教育目標とはどのようなものか。

答：学校教育目標は、地域等の委員で組織する「学校運営協議会」で定めるが、今年度から小中学校同一の教育目標としている。このほか教育理念等も同一で定めている。

問：八坂の特色を活かした教育をお願いしたい。

答：自然や歴史、伝統文化等を地域から学ぶことが八坂の特色であり、今後も継続、充実させていきたい。また、特色を活かすため地域内で話し合う場を設けていくことも重要である。

問：一貫校では、小学校の卒業式や中学校の入学式はどうなるか。

答：今後、検討していく。美麻では小学校過程が終了したときに修了式を行っている。

問：子供達への説明はいつ行うか。

答：ある程度決まった段階において、学校から子供達に伝えていく。

問：小学校、中学校の独自の行事はどうなるか。

答：分離型一貫校であるため、それぞれの行事は今後も大切にしていきたい。今後、学校の検討会議や準備委員会等で調整していく。

問：今後、具体的な内容が決められると思うが保護者等の意見を聞く場があるのか。

答：準備委員会で検討した内容を市HPや「再編ニュース」により広報していく。これを見てご意見をいただきたい。

問：美麻小中学校が一貫校になったことによるメリットを教えて欲しい。

答：学年を超えた交流から仲間づくりや助け合う力が培われている。また、併設校であるため、小学5年生からは教科担任制となり、学力の向上にもつながっていると考える。

問：地域の幅広い意見を聞いて進めてもらいたい。

答：一貫校になることは決まっているが、どのような一貫校かは、今後、地域のご意見をお聞きする中、学校運営協議会等で十分協議し、最終的に教育委員会で決定していきたい。

※「八坂学校運営協議会」は、地域、学校支援代表者、PTA等14人で組織している。

※「八坂小・中学校準備委員会」は、地域やPTA、両校の教職員14人で組織している



編集委員の任期を終えて



今までに経験のないコロナ禍での編集委員活動は、行事の中止、延期続きで取材が難しい2年間でした。編集委員の皆さん、ありがとうございました。

今期は新型コロナウイルスの影響を受けて、さまざまな行事、地区活動が中止、自粛を余儀なくされました。八坂地区内の人と顔を合わせる機会も減り、なんだか寂しいですね。一刻も早く、この禍が収束して、普通に暮らせるようになってほしいと思います。

編集委員として

は、あんなことが出来たんじゃないか、こんなことも出来たんじゃないかと反省することもありました。石原地区編集委員

松下憲夫

編集委員の皆様、ご協力いただきました皆様、2年間ありがとうございました。この2年間は新型コロナウイルスの影響で様々なイベントや行事が中止や延期となり、話題を探ることが大変でしたが、支所の皆さんやご協力いただいた皆様のおかげで、無事毎号発行することができました。

先の見えない日々が続いておりますが、日々小さな幸せを見つけながらこの長いトンネルの先にある明るい未来に希望を持ちたいと思います。次の編集委員さん、やってみると楽しいですよ！

大平地区編集委員

黒田知子

この2年間どうしてもコロナウィルスのお話を持ち出す事が多くなってしまった気がします。実際にコロナウィルスの影響で多くの地域行事が中止となり『やさかだより』のネタになるような行事が何事もなく、実施できる事のありがたみを感じる2年となりました。

記事を書くにあたり、ご協力いただいた皆さんにこの場を借りて御礼を申し上げます。これから明るい話題に事欠かない八坂地区である事を願いつつ、退任の挨拶とさせていただきます。切久保地区編集委員

吉原克巳

任期1年目は、従来の活動が全くとできず、2年目は工夫しながらできることを考える自治会活動ではなかったかなと思います。昨年はラベ

ンダーまつりの開催は見送りでしたが、感染拡大に注意しながら、摘み取り体験のみを行うなど、役員の皆さんはいつもとは違った大変さがあったと思います。令和4年度も元通りにならないような状況ですが、新役員に協力し工夫を凝らして楽しい地域活動を考えて実行していきたいと思っています。2年間『やさかだより』の取材等でご協力していただいた皆様ありがとうございました。

野平地区編集委員

丸山郁夫

編集委員になり、2年が終わろうとしています。新型コロナウイルス感染症でいろいろな行事が中止になり、戸惑うことばかりでしたが、自分なりに、新しく地域に移住して来られた人達の取材や地域の活動に頑張ってきたつもりです。取材では何軒かの家を訪問させて頂きました。顔つなぎができましたので、これからもいろいろな事情はあるかとは思いますが、若い人達にもっと行事に参加して、集落に溶け込んで頂けたらと思います。まだ、コロナが続いていますので、くれぐれも気を付けてお過ごしください。

自分なりに、新しく地域に移住して来られた人達の取材や地域の活動に頑張ってきたつもりです。取材では何軒かの家を訪問させて頂きました。顔つなぎができましたので、これからもいろいろな事情はあるかとは思いますが、若い人達にもっと行事に参加して、集落に溶け込んで頂けたらと思います。まだ、コロナが続いていますので、くれぐれも気を付けてお過ごしください。

舟場地区編集委員

坂井茂人

編集後記

例年にくらべ雪が多く除雪におわれ大変です。早くも2年間の任期を迎えようとしています。新型コロナウイルス感染症対策により、多くの行事や催しが中止、延期となることが続いていますが、創意工夫によって開催されているものもあり、希望がもてる面があります。北京冬季五輪が開催されて、参加選手の活躍に感動と勇気をもらっている人も多いと思います。が、私もその一人です。東京五輪と同じく無観客ではありましたが、その思いは変わりません。こよみでは立春を迎え日差しは暖かさを感じますが、まだまだ寒い日は続きます。ワクチンの3回目接種が進み、以前のように行事が行える日が来るのを期待しています。

中央地区編集委員

丸山 茂

